令和４年度　保健師職能委員会　活動報告

■委員名

委 員 長：田中友巳

副委員長：吉村信恵

委　　員：堀尾千恵　菅澄子　福居太佳子　北原綾　小川朋子　深見薫
千葉純子　犬塚良子　中村有美子　稲岡繁美

■活動目標

１．保健師の資質の向上を図るとともに保健師の専門性を追求する。

２．行政・職域・医療・福祉等様々な分野で働く保健師の現状から課題の集約に努めるとともに、保健師間および看護職間のネットワーク化を図る。

■委員会開催状況と検討内容

回	開催日	出席者	内容
1	令和４年４月９日 (オンライン併用)	11名	・理事会報告 ・保健師助産師看護師合同職能集会について ・保健師職能委員の役割分担について
2	令和４年５月14日 (オンライン併用)	11名	・保健師助産師看護師合同職能集会について ・若手保健師交流会について
3	令和４年７月２日	12名	・保健師職能委員会の日程・活動計画について
4	令和４年８月６日	9名	・理事会報告 ・若手保健師交流会について ・新型コロナウイルス感染症対策及び業務の影響等についての情報交換
5	令和４年９月10日	0名	中止
6	令和４年10月15日	10名	・保健師助産師看護師職能合同交流会 ・保健師職能集会について ・若手保健師交流会について ・母子のための地域包括ケアシステムの推進について
7	令和４年11月５日 (オンライン併用)	10名	・保健師長会近畿ブロック研修会【WEB 参加】 ・理事会報告 ・日本看護協会地区別保健師委員長会報告 ・若手保健師交流会について ・母子のための地域包括ケアシステムの推進について ・新型コロナウイルス感染症対策及び業務の影響等についての情報交換
8	令和４年11月19日	11名	・若手保健師交流会について
9	令和４年12月３日	10名	・母子のための地域包括ケアシステムの推進について ・若手保健師交流会について ・次年度の活動計画について ・新型コロナウイルス感染症対策及び業務の影響等についての情報交換

10	令和５年1月21日 （オンライン併用）	10名	・理事会報告 ・次年度の活動計画について ・新型コロナウイルス感染症対策及び業務の影響等についての情報交換
11	令和５年２月18日 （オンライン併用）	10名	・今年度活動報告・次年度活動計画について ・新型コロナウイルス感染症対策及び業務の影響等についての情報交換
12	令和５年３月18日	9名	・理事会報告 ・全国保健師職能委員会報告 ・今年度活動報告・次年度活動計画について ・新型コロナウイルス感染症対策及び業務の影響等についての情報交換

■活動内容	１．保健師助産師看護師合同職能集会 日　時：令和４年６月16日　９：30～12：00 場　所：兵庫県看護協会会館（オンライン配信） 内　容：令和３年度保健師職能委員会活動報告 令和４年度保健師職能委員会活動計画 基調講演　テーマ：長引くコロナ禍の今、大切にしたい看護職の心のケア ～働く人を守るために～ 講　師：兵庫県こころのケアセンター　センター長　加藤寛　氏 ２．保健師助産師看護師職能合同交流会 日　時：令和４年10月15日　13：00～16：30 令和４年11月1日～11月30日（オンデマンド配信） 場　所：兵庫県看護協会会館 内　容：性の多様性と看護について一緒に考えよう 講　演：１）医療スタッフが知っておきたいLGBTQ/SOGIの基礎知識 講　師：岡山大学学術研究院保健学域　教授　中塚幹也　氏 ２）性の多様性と看護 講　師：大手前大学国際看護学部　教授　藤井ひろみ　氏 ３．若手保健師交流研修会 日　時：令和４年11月19日　10：00～12：00 場　所：兵庫県看護協会会館 テーマ：語り合おう！　日々の悩みや喜び ～落ち込んだこと、もやっとしたこと、心が弾んだこと、感動したこと～ ４．保健師助産師合同会議 日　時：令和４年12月３日　10：00～12：00 場　所：兵庫県看護協会会館 内　容：情報提供「母子保健の現状　妊娠期から切れ目のない子育て支援」 兵庫県保健医療部健康増進課　副課長　山下久美　氏 「神戸市の母子保健事業」（産後ケア） 神戸市介護保険課担当課長　菅澄子　氏 フリーディスカッション

■活動の評価	1．保健師の資質の向上を図ると共に保健師の専門性を追求する。 　コロナ禍であり新任期保健師研修会がWEB中心となっていたことから、若手保健師が日頃の不安や悩みを語り合える場、横のつながりを提供することを目的に、交流会を企画した。交流会の開催と新任期研修会の対面開催の時期が重なったことから、交流会の参加申し込みが少なかったが、参加者にとっては日頃の思いを共有し、横のつながりを持つ機会となった。 　コロナ禍において、健康危機管理業務に追われ、通常の保健師業務を行うことが困難な状況の中で試行錯誤しながら業務に取組み、職能委員会において情報交換と保健師の専門性について検討した。 2．行政・職域・医療・福祉等様々な分野で働く保健師の現状から課題の集約に努めるとともに、保健師間および看護職間のネットワーク化を図る。 　三職能合同集会において、「長引くコロナ禍の今、大切にしたい看護職の心のケア～働く人を守るために～」をテーマにご講演いただいたことで、コロナ禍で働く保健師の現状と課題について他の看護職に理解をしてもらう機会となった。 　先が見えないコロナ対応を継続していくことの負担や不安、精神的ストレスは様々な分野で働く看護職にとって共通するものであった。コロナ禍で働く保健師(看護職)として、セルフケア、ラインケアについて考える機会となるとともに、看護職間における情報の発信と共有、連携の必要性について学ぶことができた。 　保健師・助産師合同検討会において、情報を共有し課題を明確化することで、妊娠期から子育て期における切れ目のない支援ができる連携の場となった。
■今後の課題	・新型コロナウイルス感染症対応で疲弊している保健師への支援 ・新型コロナウイルス感染症における保健師活動を振り返り、新たな健康課題や多様化するニーズに対応できる保健師を目指した現任教育と人材育成 ・行政、保健師長会、市町保健師協議会等が実施する保健師研修の整理と、保健師職能が担う役割の明確化
■看護協会への提言・要望	・保健師の計画的かつ継続的な確保に向けての働きかけ